

# 古写真がつたえる明治の市島家

～市島邸所蔵のガラス乾板、アルバムなどから～



■会期:平成30年10月13日(土)～12月24日(月) **10月13日(土)入館無料**

■ギャラリートーク:平成30年10月13日(土) 午前10時～ / 午後2時～

■講師:藤原 秀之 氏(早稲田大学戸山図書館担当課長)

■会場:市島邸(新発田市天王1563) ☎0254-32-2555

■時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※12月から閉館時間が午後4時30分となります(入館は午後4時まで)

■休館:毎週水曜日(祝日の場合は翌日休館)

■入館料:大人600円、団体(20名以上)540円 / 小中学生300円、団体250円

企画展開催に合わせて下記の  
関連イベントを開催いたします。  
詳しくは裏面をご覧ください。

・10月13日(土)

ギャラリートーク

・11月10日(土)

講演会・ナイトツアー

# 古写真がつたえる明治の市島家

～市島邸所蔵のガラス乾板、アルバムなどから～

企画展開催に合わせて下記の関連イベントを開催いたします。是非ご参加下さい。

19世紀前半のヨーロッパで生まれた写真が幕末の日本に伝わり、新発田の地に最初の写真館が開業したのは1872年（明治5）頃と言われています。その後、撮影機材の進歩にともなって、写真は明治時代を通じてちょっと贅沢な趣味として多くの人々に親しまれるようになりましたが、そんな新しい“遊び道具”を市島家の人びとが放っておくはずがありませんでした。8代当主・徳次郎（湖月）は写真を嫌がる父静月の姿を残すべく、自ら技術を習得したそうです。また9代当主・徳厚の時代には市島家の人びとの日常が写真に記録され、今日の我々にその姿を伝えてくれています。

市島邸にはそうやって市島家で撮影された写真やそのガラス乾板、さらには写真に関する図書、絵葉書など、写真に関する資料が多数所蔵されています。今回はそんな市島邸に残る「写真」をテーマに、当時の人々の暮らしに触れていただければと思います。

## ■ギャラリートーク

市島邸に所蔵されているガラス乾板、写真から市島家の当時の暮らし、そして歴史をご紹介します。

日時 10月13日(土) 午前の部10:00~/午後の部14:00～

会場 市島邸

講師 藤原 秀之 氏 早稲田大学戸山図書館担当課長

入場料 無料

## ■講演会・ナイトツアー

市島邸企画展に関わる講演会と普段見ることができない夜の市島邸を巡るナイトツアーを行います。

日時 11月10日(土) 16:00～

会場 市島邸

講師 藤原 秀之 氏 早稲田大学戸山図書館担当課長

入場料 大人600円(団体料金540円) / 小中学生300円(団体料金250円)

定員 60人(先着)

申込先 新発田市観光振興課 ☎0254-28-9960へ電話にてお申込み下さい。

## 交通のご案内

車で：新発田駅・豊栄駅から 約15分  
月岡駅・月岡温泉から 約 5分  
日本海東北自動車道  
聖籠・新発田ICから 約20分  
駐車場：大型バス5台 普通自動車25台

